

平成 29 年度



学 校 要 覧



山辺町立山辺中学校

〒990-0303

東村山郡山辺町清水1番地1

TEL 023-664-5028 FAX 023-664-5720

HP <http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/schools/juyamabe/>

メールアドレス juyamabe@town.yamoanobe.yamagata.jp

(本要覧はホームページにも掲載しています)

1 5節のサイクル

節	名称・はじめの指導	節の期間	職員会議の期日
新年度の準備			職員会議 i 4/3、ii 4/5
1	希望 始業式・入学式	4 / 1 ~ 5 / 3 1	1節職員会議4/7
2	挑戦 朝会	6 / 1 ~ 8 / 2 2	2節職員会議5/29 反省7/27
3	団結 始業式	8 / 2 3 ~ 10 / 3 0	3節職員会議8/22
4	学び 朝会	10 / 3 1 ~ 1 / 8	4節職員会議10/23
5	決意 始業式	1 / 9 ~ 3 / 3 1	5節職員会議12/22
集約			判定反省職員会議3/1

2 在籍・その他

学年	1組	2組	3組	4組	5組	やまばと	合計
1年	27	28	27	28		5	115
2年	32	32	32	31		1	128
3年	28	28	27	27	26	2	138

3 職員

校長 多田 徹 数 教頭 武田 直也 数
 教務 今田 義浩 数 庶務 小野 智弘 国

学年主任・学級担任

	1学年(6人)	2学年(6人)	3学年(7人)
主任	柏倉 宏 体	佐藤 正行 英	佐藤 政徳 数
副主任	伊藤 洋子 音	小野寺 智 技	阿部富士子 数
担任	(伊藤 洋子 音) 高橋 拓也 国 吉泉 睦美 家 白田 浩基 理	白田健太郎 理 旭 桜 体 長岡 麻里 美 土屋 磨姫 社	大山 紗季 国 石澤 幸太 体 山口 裕靖 英 鈴木 愛美 英 小笠原佳之 社
担外	齋藤 洋平 社 志田紗綾香 国		

特別支援学級担任 ○齋藤 扶美 理(知) 土屋 佳織 理(知) 明泉 宏幸 英(情)
 養護教諭 吉見 洋美
 事務主査 押野千賀子 PTA事務補助 左近充美由紀
 総括業務員 多田 光友 業務員補助 野口 清志 鈴木 繁治
 A L T ライアン・リサ シェスティン
 スクールカウンセラー 鈴木 康正 松崎 学
 特別支援教育支援員 和田 ミワ 図書業務補助 佐藤志津子
 給食業務補助 廣野 誠子

4 沿革

- 昭30. 4. 1 大寺中学校廃止 山辺(やまべ)中学校に統合
- 昭37. 4. 1 相模・山辺(やまべ)中学校を廃止 山辺(やまのべ)中学校を設置
- 昭39. 2. 校章制定
- 昭41. 4. 23 新校舎落成
- 昭43. 5. 15 さくらの会発足
- 昭43. 6. 9 生徒総会でJRC加盟決定
- 昭43. 12. 1 100本の桜を植栽(さくらの会)
- 昭47. 11. 3 創立十周年記念式
記念誌「愛宕」発行
- 昭48. 7. 26 プール完成
- 昭54. 5. 12 グラウンド整備完成式
- 昭55. 4. 29 教育振興会発会式
- 昭57. 10. 9 創立二十周年記念事業
「視聴覚室」完成
- 平 2. 10. 27 「希望の像」 建立
- 平 4. 11. 7 創立三十周年記念中庭整備事業
- 平 6. 5. 20 グラウンド整備工事完成
- 平 7. 12. 4 頭髪改定(生徒総会で可決)
- 平 9. 3. 14 校舎増築完成(玄関・多目的教室・コンピュータ室)
- 平14. 11. 9 創立四十周年記念体育館音響設備事業
- 平16. 8. 20 排水設備完成
- 平16. 11. 19 県健康推進学校最優秀受賞
- 平18. 3. 15 ピアノ寄贈(国際ソフ^oチミスト山辺)
- 平24. 4. 1 山辺町立中中学校と統合
- 平24. 11. 2 創立五十周年記念式典・合唱祭
- 平27. 3. 1 新校舎竣工式・町内一般公開
- 平27. 3. 11 新校舎に引越し
- 平27. 3. 15 ピアノ寄贈(国際ソフ^oチミスト山辺)
- 平27. 4. 1 新校舎に正式移転(設置条例改正施行による)
- 平27. 11. 25 グラウンド・テニスコート・駐車場の完成
- 平29. 3. 27 グラウンド・テニスコートのクラブハウス(外倉庫・外部室) が完成、外構工事終了



校歌

作詞 後藤 紀一

作曲 安達 久五

一 みちのくのわれらは男子おのこ

古墳にねむる祖先みおやのように

愛宕の霧にあかあかと

いま新しき火つくを創る

火を創る

二 雪国のわれら乙女子おとめご

りんごの花のつぼみいではのように

出羽の丘いではに抱かれて

蔵王の嶺の春を呼ぶ

春を呼ぶ

三 白鷹山しらたかのわれら風の子

平和な白い雲のように

大日輪にかがよいて

集うわれらの学舎まなびやよ

学舎よ

校歌について

愛宕の霧ということばがありますがこれは昔私たちが小学校のころ朝起き会というのがあって、朝早く愛宕山に、ちりとりと箒を持って頂上の神社の境内を清掃に行ったものです。そのとき、よく山が深い霧に包まれていました。しかもその霧が薄れたところから、松の木がポーッと墨絵のように浮かんでいたものです。また神社の清掃が終わって帰って来る時、落葉松の実からでたボーツと丸い玉のようなはえでたばかりの落葉松をよく抜いてきたものです。それには霧がかかっている、それは真珠を飾ったようになっていました。わたくしたちはその美しさにうたれて、たくさん抜き取ったものでした。私はその印象を思い浮かべるとき、どうしても愛宕の霧ということばを使いたかったのです。

作詞者 後藤紀一（昭和50年 愛宕41号より）

学校教育目標

「いのち」を大切に、「絆」を深め、「学び」続ける生徒の育成

めざす生徒像

(1) 「いのち」を大切にする生徒

平和を愛し、「生命」を尊び、自他の生き方を大切にして、
健康でたくましく生き抜く生徒

(2) 「絆」を深める生徒

地域との絆、人との絆を大切にし、
豊かなコミュニケーション力を身につけた生徒

(3) 「学び」続ける生徒

書物を愛し、人の話に耳を傾け、
自己実現に向けて学び続ける生徒